

No.	時間	セッション時間	会場	部屋名	セッション名	セッションタイトル	演題名 (抄録記載)	講師名	所属 (抄録記載)
1月25日 (土)									
1	9:40 ~ 11:00	80分	第1会場	1F G3+G4	シンポジウム1	パリ2024オリンピック・パラリンピック大会メディカルサポート	パリオリンピックにおける日本代表選手団本部のメディカルサポート	佐藤 正裕	八王子スポーツ整形外科
2							パリ2024パラリンピック日本代表選手団本部トレーナー活動報告	笹代 純平	国立スポーツ科学センター
3							競泳日本代表コンディショニングチームのパリオリンピックへ向けた3年間の取り組み	小泉 圭介	東都大学
4							パリ2024パラリンピック競技大会陸上競技におけるメディカルサポートについて	渡邊 帆貴	日本パラ陸上競技連盟
5	11:10 ~ 12:10	60分	第1会場	1F G3+G4	基調講演		目的を持った運動・スポーツによる認知症予防効果	島田 裕之	国立長寿医療研究センター研究所 老年学・社会科学研究センター長
6	12:30 ~ 13:30	60分	第1会場	1F G3+G4	ランチョンセミナー1	調整中 (後日ご確認ください)			
7	12:30 ~ 13:30	60分	第2会場	1F G2	ランチョンセミナー2		ハイパフォーマンスを支えるコンディショニングの実践	沼澤 俊	宝塚医療大学
8	14:30 ~ 15:50	80分	第1会場	1F G3+G4	シンポジウム2	女性アスリートに対する障害予防・コンディショニング	女性アスリートの疲労骨折と前十字靭帯損傷	能瀬 さやか	国立スポーツ科学センター
9							理学療法士からみた女性アスリートに対する障害予防・コンディショニング	松浦 由生子	新潟医療福祉大学
10							女性アスリートの栄養指導～現状と課題～	石井 美子	国立スポーツ科学センター
11							女性アスリートにおけるリカバリー戦略	中村 真理子	国立スポーツ科学センター
12	16:00 ~ 17:00	60分	第1会場	1F G3+G4	特別講演		スポーツ理学療法学研究的の深化と課題	浦辺 幸夫	広島大学大学院
1月26日 (日)									
13	8:30 ~ 10:00	90分	第2会場	1F G2	臨床スキルアップセミナー	ACL再建術後の競技復帰	膝前十字靭帯再建術後のスポーツ復帰基準の現状と課題	上田 雄也	神戸大学大学院
14							前十字靭帯再建術後の再損傷予防とパフォーマンス向上に向けたスポーツ理学療法	大路 駿介	順天堂大学
15							膝前十字靭帯再建術後の競技復帰に向けた多面的アプローチの実際	梅原 弘基	船橋整形外科市川クリニック 理学診療部
16	8:50 ~ 9:50	60分	第1会場	1F G3+G4	教育講演		スポーツ障害の『なぜ?』がわかる臨床解剖学	工藤 慎太郎	森ノ宮医療大学
17	10:00 ~ 11:00	60分	第1会場	1F G3+G4	招待講演		ハイパフォーマンスからライフパフォーマンスへ 国立スポーツ科学センターの新たな挑戦 -	久木留 毅	ハイパフォーマンススポーツセンターセンター長 国立スポーツ科学センター所長
18	11:10 ~ 12:30	80分	第1会場	1F G3+G4	パネルディスカッション	スポーツ理学療法学に求められる社会貢献活動 ～スポーツ庁公募事業における理学療法士の取り組み・役割～	北海道におけるスポーツ医・科学サポート体制の構築事業 - スポーツ理学療法学の貢献可能性 -	片寄 正樹	札幌医科大学 北海道スポーツ医・科学コンソーシアム運営委員会
19							新潟県におけるスポーツ医・科学支援体制構築の取り組み～新潟スポーツ医・科学コンソーシアムの形成～	江玉 睦明	新潟医療福祉大学 新潟スポーツ医・科学コンソーシアム
20							日本理学療法士協会におけるスポーツ庁公募事業の実施について～協会・学会が連携した取り組み～	鈴川 仁人	横浜市スポーツ医学科学センター 日本理学療法士協会 スポーツ理学療法業務推進部会
21							スポーツ庁における国民のライフパフォーマンスの向上に向けた取組と理学療法士への期待	中村 宇一	スポーツ庁 健康スポーツ課長
22	12:40 ~ 13:10	30分	第2会場	1F G2	特別企画セミナー		日本理学療法学会連合版徒手筋力検査法・関節可動域評価指針の活用	藤澤 宏幸	東北文化学園大学 日本理学療法学会連合理事長
23	14:00 ~ 15:20	80分	第1会場	1F G3+G4	シンポジウム3	スポーツ理学療法分野における保険外事業の可能性	リハビリテーションの知見に基づく運動療法プログラムを活用した保険外事業の実際	玉置 龍也	横浜市スポーツ医学科学センター
24							夢と現実のバランスをふまえたキャリア選択	角谷 尚哉	株式会社Health Link
25							陸上競技現場からみた保険外事業の必要性	大桃 結花	B momo
26							日本電気株式会社(NEC)における保険外事業の紹介	中丸 宏二	日本電気株式会社